令和６年度　浜松市立鴨江小学校　学校評価報告書

１　自己評価

自己評価結果、考察及び改善方策

別紙（学校便り）のとおり

２　学校関係者評価

２月１０日（月）に開催した学校関係者評価委員会（学校運営協議会）において、自己評価結果、考察及び改善方策について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

- 学校アンケートの結果から、自分の考えを伝えることが難しいと思っている子が多くいる。実際そのように見受けられる。
- 外部講師を招くことがマンネリ化しないよう、新しいこともやっていけたらよい。防災ボランティアの経験を小さいうちから経験させたい。いい経験になると思う。
- 「自分から挨拶できる」の項目は高評価だが、実際あまりされたことがない。学校内だけの評価で外部の人にはできていないような気がする。学校外でももう少し元気に挨拶できるとよい。
- 「学校が楽しい」の評価項目が下がっているのが気になる。パーセンテージだけでなくどうして楽しくないかを分析する必要もあると思う。

- いじめ対策基本方針について

  いじめ認知件数は、校内いじめ対策会議にて職員に伝え、起こった事案に関しても、共通理解の場を設けている。いじめアンケートを学期に１回（年３回）行い、早期発見・未然防止に努めている。

  保護者、地域、学校が一体になりながら、子供たちを見守り、声を掛けたり、連携したりしていくことが大事である。

３　学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- 「わかった」「できた」を実感できる授業を引き続き目指し、授業の UD 化を進めたり、教育の情報化を推進したりする。
- 来年度の重点活動として、「〇〇チャレンジ」を実施する。これは、苦手なことにもチャレンジする粘り強さを育成していくことがねらいである。
- 「教師と子供」「教師と保護者」「子供と子供」の人間関係・信頼関係づくりを大切にしたり、配慮を要する児童や保護者への対応を丁寧に行ったりする。「学校が楽しい」子が増えるよう、アンケートを継続して、方向性を探る。
- 今年度に引き続き、進んで挨拶ができるような取り組みを充実させる。
- 保護者や地域に、学校の教育について分かってもらうために、懇談会や便り等で積極的に活動を伝えていく。